

## 会 議 録

会議の名称	和泉市環境審議会（令和２年度第１回）
開催日時	令和２年１０月１５日（木） １４：００～１６：００
開催場所	和泉市コミュニティセンター１階 大集会室
出席者	増田会長 巖副会長（専門部会長） 浅井副会長 竹歳委員 藤田委員（専門部会委員） 竹中委員 藤森委員 吉田委員 坂本委員 関戸委員 大谷委員 山本委員 古下委員 河合委員（専門部会委員） 辻林委員 友田委員 石井委員 橋本恵委員 梁取委員（専門部会委員） 橋本隆次委員（専門部会委員） 辻委員（専門部会委員） 稲井委員（専門部会委員） （以上２２名・順不同）
事務局	環境保全課
会議形態	公開
会議の議題	■委員の就任について ■議事 （１）第２次和泉市環境基本計画の進捗状況について （２）第３次和泉市環境基本計画（案）について （３）パブリックコメントの募集について （４）その他
会議の要旨	○坂本委員及び関戸委員、友田委員、古下委員が委員に就任した。 ○第２次和泉市環境基本計画の進捗状況について概要の説明、質疑、審議を行った。 ○第３次和泉市環境基本計画（案）について概要の説明、質疑、審議を行った。 ○パブリックコメントの募集について概要の説明、質疑、審議を行った。
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した構成員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他（ ）
議事要旨 【主な意見等】	１．委員の就任について 坂本委員、関戸委員、友田委員、古下委員の計４名が新たに本審議会委員として就任された。 ２．議事 （１）第２次和泉市環境基本計画の進捗状況について

	<p><b>【事務局：説明概要】</b></p> <p>○第2次和泉市環境基本計画の進捗状況</p> <p>第2次和泉市環境基本計画の進捗状況調査の結果について、具体的な数値目標を設定した施策について、事前に配布した資料を元に報告。</p> <p><b>【増田会長】</b></p> <p>事前に資料に目を通していただいて、何かお気づきの点のご意見いただければと思います。いかがでしょうか。</p> <p><b>【委員】</b></p> <p>評価について、4番では、状況は「B：未着手・未実施」とありますが、達成度は「3：一部達成できた」となっているのは不思議に思います。</p> <p>6番について、実績値が0%なのに、達成度が「2：概ね達成できた」となっているのは疑問に思います。</p> <p>23番について、数値目標が平成30年度に比べて減っていますが、達成度が2から1に変わっている点が不思議に思います。</p> <p>27番について、年1回実施していますが、実績が未実施となっています。</p> <p>28番・29番について、施策内容で同じ内容と記載していますが、R1年度実績等の記載が違います。</p> <p>35番について、平成31年度の目標値を達成していますが、達成度が「3：一部達成できた」のままで良いのでしょうか。</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>4番について、施策を実施していますので、実施状況はBではなくAの間違いです。そのため、達成度は3となります。</p> <p>6番について、新規購入が来ていませんので、実施状況がAからBに変更となり、達成度が4となります。</p> <p>23番の不法投棄パトロールについて、業務委託と市が実施しているものがあります。回数は記載通りであります、パトロールの箇所が減ってきている状況にあります。不法投棄が少なくなってきていますので、達成度を1と評価しています。</p> <p>27番について、1回実施していますので、状況については「A：実施」となります。修正箇所が多いので、全体的に修正を行います。後日、修正した資料を委員全員に郵送いたします。</p> <p><b>【増田会長】</b></p> <p>ご指摘いただいた箇所について、再度実施状況のチェックをかけてい</p>
--	--

	<p>ただくということが良いと思います。この他、お気づきの点があれば、事務所にご連絡いただきたいと思います。</p> <p>(2) 第3次和泉市環境基本計画（案）について</p> <p>【事務局：説明概要】</p> <p>○差し替え資料の修正</p> <p>差し替え資料に基づき、計画案の修正箇所について説明。</p> <p>p. 4 の1-3 計画の位置づけと役割について、文章中の「上位計画をはじめ」という記載を「上位計画と整合性を図り」という表現に変更しました。</p> <p>p. 10 の人口推計のグラフについて、「国勢調査の結果」という記載を「住民基本台帳に基づく人口データ」に変更した。p. 96 についても、同様に修正しました。</p> <p>p. 35 の目標 1. 参加・協働の 2 番目の項目について、現状値を 43.9% から 44.0% に修正しました。</p> <p>p. 35 の目標 3. 生物多様性について「希少動植物の数」と記載していたが、第5次総合計画の表現に統一するために「貴重動植物の数」に変更しました。</p> <p>p. 36 の目標 3. 生物多様性について、「いずもくの年間搬出材積」と記載していたが、第2期総合戦略の表現にあわせ「森林経営計画に基づくいずもくの年間搬出材積」に修正しました。</p> <p>p. 47 のESCO 事業の活用について、表現を修正しました。p. 74 についても同様に修正しました。</p> <p>p. 95 の人口・世帯数の推移のグラフについて、住民基本台帳に基づく数値に修正しました。</p> <p>【増田会長】</p> <p>原本に、赤線の見え消しを施した資料をお渡しし、修正箇所を確認していただき、議事を進めさせていただきたい。本編の説明に入っていたきたい。</p> <p>○第3次和泉市環境基本計画（案）</p> <p>資料に基づき第3次和泉市環境基本計画（案）の概要と重点的に審議したい項目について説明。</p> <p>(内容)</p> <p>和泉市環境基本計画は、市民と事業者と市の協働で多岐にわたる環境問題に対して、効果的な取組が実施出来るようにしたもので、令和12年度の目指す姿と取組をまとめたものであります。計画は全7章で構成されています。</p>
--	---

	<p>p. 35 の 4-3 について、今回から具体的な数値目標を掲載しています。本年度策定のお計画から転記している数値もあり、本計画策定までに修正可能なものは後日修正します。</p> <p>環境保全課が掲げている目標としては、「環境に関する学習会の参加件数」、「CO<sub>2</sub> 排出量割合」、「環境基準の達成状況」となっています。「環境に関する学習会の参加件数」については、関係部署と連携して、参加数を抽出し掲載します。</p> <p>p. 36 について、目標値は設定せず、市の環境状況の情報収集するためのモニター指標です。いずもくの指標について、専門部会の際に、森林環境譲与税を活用して生物多様性を維持する経済活動について掲載するのはどうかとご指摘いただきました。担当部署に確認したところ、森林環境譲与税の使い道は現在検討中であり、5年後の見直し時に再検討を行うと回答いただいています。</p> <p>第6章と第7章については、初めてご覧になる方もいらっしゃるので、重点的に議論したいところです。</p> <p>p. 72 の第6章では、重点的に取り組む項目である重点プロジェクトを掲載しています。重点プロジェクトの3つの柱である「気候変動対策」「生物多様性の保全」「循環型社会の形成」について記載しています。</p> <p>p. 73 の気候変動対策の取組については、和泉市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）に基づいた温室効果ガス削減の取組と気候変動影響への適応策について記載しています。和泉市では、2030年度の温室効果ガス排出量を2013年度と比べて、全体で約30%削減を目標として掲げています。部門ごとの削減率はp. 73をご参照ください。</p> <p>p. 74 から p. 76 に温室効果ガス削減に向けた取組を掲載しており、市だけでなく、市民、事業者も取組対象としています。取組内容は大きく4つに分かれており、エネルギーに関する取組、温室効果ガス排出削減に関する取組、公共交通機関の利用や都市における緑地の保全及び緑化等に関する取組、廃棄物等の発生の抑制等や循環型社会形成に関する取組を掲載しています。</p> <p>p. 77、p. 78 では、気候変動への影響への対策として適応策関連の内容を掲載しています。また、適応策についてご説明します。</p> <p>本市の計画では、異常な暑さの対策や気候変動影響の情報発信について記載しています。取組については、p. 77、p. 78をご確認ください。</p> <p>p. 79 から p. 81 では、生物多様性の取組内容について記載している。第2次計画の内容を現在の情勢にあわせて一部修正したものを記載しています。具体的な内容については、p. 80、p. 81をご確認ください。</p> <p>p. 82 では、循環型社会形成の形成について記載しています。和泉市では、プラスチックごみ削減のために、「いずみプラスチックごみゼロ宣言」</p>
--	--

	<p>をし、プラスチックごみ削減や再利用の取組内容を記載しています。第2次計画に引き続き、3Rの推進にも取り組んでいきます。</p> <p>p. 85 から p. 87 では、第7章計画の推進に向けた方策について記載しています。第2次計画に引き続き、計画の進行管理はPDCAサイクルにより行います。</p> <p>専門部会で出た意見及び対応については、別紙資料に記載しています。</p> <p>p. 88 以降は資料編、p. 130 以降は用語集を記載しています。用語集について、前回の専門部会で出た意見を基に一部修正しています。また、p. 39 から p. 71 の第5章についても、関係部署へ照会を行い、表現を一部修正しています。</p> <p><b>【増田会長】</b></p> <p>説明の仕方が、内容をこの場で見てほしいという説明の仕方であり、読んでほしいという説明である。具体的に記載している内容を説明しないと理解が委員の皆さんは理解できない。</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>補足説明をさせていただきます。計画素案の重要なポイントは3つあります。</p> <p>1つ目のポイントは p. 34、 p. 35 に記載した望ましい環境像についてであり、第1次計画から変わらず5つの目標を掲載しています。それぞれの目標毎に到達度を把握するため、目標値を設定したものが p. 35 の代表指標です。例えば、「参加協働」については、環境に関する学習会等の参加件数を現状値以上という目標を記載しています。p. 36 のモニター指標は、目標達成に向けた取組の推進について、動向をモニターしていく指標として設定したものです。</p> <p>2つ目のポイントは、p. 39 以降に掲載した各目標の達成に向けて取り組む施策についてです。例えば、基本目標1に関する施策を p. 41 の表に記載しています。</p> <p>3つ目のポイントは、p. 72 以降の「重点プロジェクト」についてです。気候変動対策としての CO<sub>2</sub> 削減や生物多様性、循環型社会に関する内容を記載しています。今後の説明では、内容を詳しく説明したく考えています。</p> <p><b>【増田会長】</b></p> <p>補足説明でかなり分かったのではないかと思います。1つ目のポイントと言っていた p. 34～p. 36 の目標について、ご意見・ご質問がございましたらいただきたいです。望ましい環境像は1次計画から踏襲す</p>
--	--

	<p>るという形で展開しています。</p> <p><b>【委員】</b></p> <p>p. 35 の目標年度について、年号の表記が和暦や西暦などの表現にぶれがありますので統一していただきたいです。他の箇所も同様に修正いただきたいです。</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>年号の表記は統一させていただきます。</p> <p><b>【増田会長】</b></p> <p>西暦で統一して、括弧書きで和暦にしても良いかもしれません。基本目標 5 で、「健康で安全な」と記載されていますが、感染症対策についての影響は記載しなくて良いのでしょうか。</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>前回の専門部会で、グリーンリカバリーという考えについて紹介させていただきました。コロナがどう収束していくかはわからないため、環境分野の範疇で記載していきたいと思います。</p> <p><b>【増田会長】</b></p> <p>1 つ目のポイントはよろしいでしょうか。</p> <p>次に、p. 39 から細かい施策が続いています。事前に目を通されて、お気づきの点があればご意見いただきたいです。</p> <p><b>【委員】</b></p> <p>p. 39 の表について、白黒ですと見づらいです。</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>白黒ですと見づらい状況にありますが、カラー版では見えていますので、再度見え方を確認、検討していきたいと思います。</p> <p><b>【委員】</b></p> <p>p. 67 にある化学物質の硫黄酸化物、窒素酸化物 X が大文字になっています。修正いただきたいです。</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>修正させていただきます。</p>
--	---

**【委員】**

p. 67 に「かしこい車の使い方」とありますが、どういうことですか。

**【事務局】**

エコドライブのことです。表現については、検討させていただきたいと思います。

**【増田会長】**

「適切な」や「効率的な」という言葉で検討いただきたいです。パブリックコメントまで時間がありますので、その時までには、お気づきの点がございましたら、事務局に連絡をいただきたいと思います。

p. 72 以降について、重点プロジェクトとして「気候変動」及び「生物多様性」、「循環型社会」が掲載されています。お気づきの点について、ご意見お願いしたいです。

**【委員】**

p. 80 に「森林環境譲与税に基づいて」という表現がありますが、用語集の森林環境税に森林環境譲与税の説明があります。用語集と整合性を図っていただきたいと思います。

**【増田会長】**

森林環境税については国の環境税と別に、府独自の環境税を行っています。そのことについて、コメントされているのでしょうか。

**【事務局】**

p. 133 に森林環境税について記載していますが、府独自の森林環境税は記載していません。

**【増田会長】**

大阪府の森林環境税は、1 期目が終わり、2 期目ではクールスポットの創生と凹型地形の流木の流出による土砂災害の抑制に税金を投入する動きが見られています。関係する可能性がありますので、目を通して頂きたいと思います。

**【委員】**

p. 73 の温室効果ガスの削減目標について質問です。2013 年度の排出量の算出根拠となるデータはどこのもののでしょうか。2030 年度の目標を 30%削減としたその根拠について教えていただきたいです。

	<p><b>【事務局】</b></p> <p>p. 73 のデータの出典は、環境省が公表している自治体の CO<sub>2</sub> 排出量データを採用しています。また、目標値は、国の目標設定値を採用しています。</p> <p><b>【委員】</b></p> <p>p. 116 にある地域経済循環分析のデータとの CO<sub>2</sub> 排出量の整合性がとれているのでしょうか。</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>整合性はとれていると思われますが、確認が必要です。</p> <p><b>【増田会長】</b></p> <p>目標値の 30% は大きな目標値であると思います。達成できるかどうかを含めて方向性を検討いただきたいと思います。</p> <p><b>【委員】</b></p> <p>p. 75 の公共交通機関について、路線バスが採算性を理由に廃止していくという流れがあります。しかし、山手の方では公共交通機関が少なく、お年寄りが車を使うといった実情があります。現実問題として、CO<sub>2</sub> の削減目標を達成するために、公共交通機関の活用に向けた動きをしているとは思えませんが、その点はいかがでしょうか。</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>都市政策室と協議し、この掲載に至っています。課題は認識しているところでありますが、どう実現していくかが課題となっています。</p> <p><b>【委員】</b></p> <p>目標の中から外せない項目ということは良く分かります。市として、大型バスから小型バスに切り替える等 CO<sub>2</sub> 排出量の削減のために路線バスをどうしていくのかといった話が一切出ていません。目標としては理解できますが、施策の準備期間がなく、庁内でも協議されていない状況で、バス業界との協議をするつもりなののでしょうか。</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>環境の立場として、この取組をやりたいと思っていますが、現実にはできるかは今後の協議によるものかと思います。しかし、環境の立場として、この取組は行いたいと考えております。</p>
--	---



**【委員】**

和泉市にも運送会社が増えてきています。車庫の設置のしやすさ等から運送業界も和泉市に参入してきており、クリーンディーゼルの推進などを行ったとしても、運輸部門の CO<sub>2</sub> 排出量の削減は大変難しいと思います。その部分を踏まえると、目標達成のためにはマイカー抑制がターゲットになってくると思いますので、具体的に策を検討していただきたいと思います。

資料が見つらいです。資料番号を付けるだけで良いと思います。また、誤字脱字が多すぎるので、打ち合わせもしっかり行った上で、審議会に提出いただきたいと思います。

**【委員】**

p. 77、p. 78 について、重点的な取り組みの①から④について「市民等」の参加を示す○が新たに②にもついています。新たな考えがあったのでしょうか。

**【事務局】**

市民も対象とした項目と判断しましたので○をつけました。

**【委員】**

第2次計画の施策の進捗状況について、実施状況が9割弱で、達成度は8割が概ね実施できており、高い達成度になっていると思います。第3次計画の施策では、現在足りないと思われる施策を行うのか、第2次計画の補充に重点を置くのかが分かりにくいので明らかにしてほしいと思います。

**【増田会長】**

第3次の施策をどう組み立てるかというご質問かと思います。

**【事務局】**

第2次で達成できなかった項目の引継ぎは基本においています。それ以外に全体行うべき項目、強化していくべき項目ということで整理させていただいています。

**【委員】**

p. 74 に図 26 について、グラフ化されていますが、年の幅にあわせて横軸を検討いただきたいと思います。

p. 78、p. 81 の SDGs のロゴについて、前回の専門部会でロゴの大きさ

に違いが見られたので、その意味について質問させていただきました。ロゴの並び順についての意味が気になります。ワークショップに関する事例を掲載する場合、教育に関するロゴも入れていただいたほうが良いのではないのでしょうか。さらに、重点的な取組内容に関連する SDGs の目標を再度検討していただきたいと思います。

**【増田会長】**

SDGs を掲げるルールをどこかに入れておく必要があるかと思います。SDGs の目標内の項目 169 を選ぶと、重複する可能性がありますので但し書きを記載した方が良くかもしれません。

**【委員】**

前回大きな問題がなければ、専門的な用語を後ろで説明いただいていると思います。用語集と用語との関係について、お示しいただくと市民にも分かりやすいと思うのでご検討いただきたいです。

**【事務局】**

SDGs のロゴについては優先度の高い順で示したいと思います。また、p. 77 のグラフについても横軸の間隔の修正を行います。

**【委員】**

p. 77 について、「脱炭素社会への移行が最重要となります」と記載していますが、これを解決したら気候変動が解決するという印象を持たれますので、表現方法について再度検討していただきたいです。また、p. 77 の(1)現状および課題の文章中の「既に影響が出始めている気候変動への影響」の最後の影響は削除した方が良いと思います。

p. 88 のプラスチックごみゼロに向けた取組について、ごみゼロはもっと将来の話に感じて、現実的でないと思います。なかなか難しい課題だと思います。

p. 108 の二酸化窒素の環境基準について、文章中に 0.04ppm と記載がありますが、実際の基準は 0.06ppm と思うので数値設定に疑問を感じます。

p. 4 の計画の目的について、「すべての人が一体となって・・・」と表現されています。「すべての人が一体となって」が前提条件に思えるので、目的の表現としてはいかがでしょうか。

p. 25 の電力使用量の目標が現状維持となっていることに違和感があります。電力使用量は変わらないが、再生可能エネルギー由来の電力に移行するという文言が必要だと思います。

**【事務局】**

p. 77 について、再度整理して修正させていただきます。

p. 88 について、昨年度プラスチックゼロを宣言しています。目標として掲げているもので、その取組を掲載しています。

**【増田会長】**

生ごみの回収方法は、ギャベージの設置などの仕組みがなければ、レジ袋がゼロになったとしても代替物の購入など難しい問題があると思います。

**【事務局】**

p. 108 について、二酸化窒素の環境基準が 0.04～0.06ppm との認識はしています。0.04ppm よりも低いことを示すために提示したもののため、0.06ppm に修正を行います。

p. 4 の「一体となって…」について、p. 33 の基本理念は環境基本条例に則ったもので、環境基本計画はこの基本理念を基に作られています。その基本理念の(1)に「すべての市民」という表現があり、その表現を組んだためだと思います。p. 4 の表現については、再度検討を行います。

**【増田会長】**

p. 37 に市民、事業者の役割があります。すべての人がそれぞれの役割を認識するという表現にすると良いと思います。一体となると同じ事をするというイメージになるため、言葉を精査していただきたいです。

**【事務局】**

p. 25 の電力使用量についても、文章中の表現の精査を再度行いたいと思います。

**【委員】**

p. 25 の表の目標が 2020 年になっていますが良いのでしょうか。

**【事務局】**

p. 25 については再度整理し、修正の必要がございましたら修正したいと思います。

**【委員】**

p. 57 の施策：遊休農地の活用を促進するについて、「検討します。」は不要かと思います。

新型コロナウイルス感染について、計画内での位置づけが分かりません。また、計画案で新型コロナについて全く触れられていない理由も分からないので、教えていただきたいです。

**【事務局】**

p. 17 のグリーンリカバリーの政策の項目で、新型コロナウイルスについて記載はしています。しかし、本計画は環境に関する計画でありますので、新型コロナについては記載できる範囲で書きたいと思っています。

**【増田会長】**

ウィズコロナで、ポストコロナが見通せないという考え方があります。話は変わりますが、大阪府では区域マスタープランを作成しており、来年度のコロナ関連について見直すということを宣言しています。今の段階では、見通しが立っていない状況です。もしかすると、今後の対応が必要かもしれないということを入れておいたほうが良いかもしれません。

**【委員】**

p. 98 の産業について、産業別就業者数のグラフは、和泉市に住んでいる人がどのような産業に就業しているかを示したもので、市外に通勤されている人も含まれていると思います。したがって、和泉市の産業の姿としては相応しくないかと思います。和泉市で働いている人、従業員人口で産業別に掲載した方が良いと思います。また、産業と示すには、生産額を扱うことも良いのではないのでしょうか。

p. 113 の都市ガス需要量の推移について、H27、H30 の数値について確認をいただきたいと思います。

**【委員】**

p. 82 のプラスチックごみゼロとありますが、3R という表現では、現在の情勢にあわないのではないのでしょうか。

**【事務局】**

環境省でも 3R 月間などの取組がされており、本市においても 3R で統一しています。これを変える場合は、市の政策として打ち出す必要があります。現在は 3R として進めていく予定です。

**【委員】**

小学生も読むかもしれないということを視野に入れていると思いま

	<p>す。学生のバイブルになるものだと思いますので、用語集の言葉が、何ページにあるかを記載いただきたいです。</p> <p><b>【増田会長】</b></p> <p>生物多様性国家戦略が 2020 年で終わります。2021 年度以降の議論がスタートしており、新しい概念も議論されていますので、次の国家戦略にあうように整合性をはかっていただきたいと思います。</p> <p>この他お気づきになった点がございましたら、1 週間以内に事務局にご連絡をお願いします。</p> <p>(3) パブリックコメントの募集について</p> <p><b>【事務局：説明概要】</b></p> <p>パブリックコメントの募集と今後のスケジュールについて説明した。</p> <p>本日の審議会後に資料の修正等を行い、12 月上旬に第 4 回和泉市議会定例会で報告する。令和 3 年 1 月の 1 ヶ月間パブリックコメントの募集を行う。募集は、広報 1 月号や HP にて行う予定。令和 3 年 2 月中旬頃に、最終案を第 2 回専門部会で皆様に報告を行いたい。令和 3 年 3 月下旬に開催する予定の環境審議会の場で、和泉市市長より諮問し、年度内に環境審議会より答申頂き、令和 3 年 4 月の施行を目指している。</p> <p>新型コロナウイルスの感染状況では、スケジュール通りに行くかは現段階では分からない。タイトなスケジュールとなっているが、年度内の策定に向けて、委員の皆様のご協力・ご支援をお願いしたい。</p> <p><b>【増田会長】</b></p> <p>12 月議会に提出する資料の原案作りについては、会長と副会長に一任していただきたい。委員の皆様には、パブリックコメント終了後の環境審議会最終確認していただく形にさせていただきたい。</p> <p>色々な人にパブリックコメントしていただくために、概要版を作成してはいかでしょうか。</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>概要版については、A3 サイズの裏表ぐらいのイメージで作成したいと思います。</p> <p>(4) その他</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>本日、その他の案件はありません。</p>
--	--

	<p><b>【増田会長】</b></p> <p>他にご質問等はありませんか。それでは、進行を事務局にお返しいたします。</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>ありがとうございました。これをもちまして、令和２年度第１回和泉市環境審議会を閉会させていただきます。委員の皆様方には、長時間ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
--	--